



もおかにししょう

真岡西小だより

もおかしりつもおかにししょうがつこう
真岡市立真岡西小学校

令和6年度第3号

2024. 6. 20発行



①あいさついっぱい ②のちいっぱい ③んどう・うたいいっぱい ④ほん・えがおいっぱい ⑤もいやりいっぱい

ホームページもご覧ください



ちょっとしたうれしい出来事

6月に入り、学校評議員や青少年健全育成連絡会の話合いに参加しました。その中で、出席された委員さんから次のような話を伺いました。

「毎朝子供たちが元気にあいさつをしてくれるので、とてもうれしい。子供たちから元気もらっています。」

「西小の子は、上級生を先頭に、一列でちゃんと歩いていて素晴らしいです。」



一方で、先日の朝には、こんなことがありました。私が朝いつものように学校近隣を歩いて回り、ある登校班の子供たちと一緒に学校を目指していると、公園沿いの歩道にゴミが落ちていたのです。それを見たある子が、「どうしてこんなふうにゴミを置いてっちゃうんだろ…」とつぶやきました。「そうだよね。」と言って私がゴミを拾うと「校長先生、はい。」とゴミを拾って渡してくれた子もいました。私はとても驚くと同時に、とても心がホカホカしたうれしい気持ちになりました。子供たちの心や感じ方は実に純粋で、良いものを心地よく感じ、そうでないものにはモヤモヤやザラザラを感じているのだなあと思いました。

元気にあいさつする子供たちも、ゴミを見て「どうして？」って感じた子供たちも、家庭や地域で、これまでどのように教え育てられてきたからなのでしょう。日頃、元気よくあいさつをしてくれる子供たちや、友達と仲良く遊んでいる子供たちの姿を見ていると、家庭の教育や地域の方々の力が大きいなあ、強く感じます。元気がもらえたいうれしい出来事をこの場でご紹介させていただくとともに、地域の子供たちが仲良く元気に健やかに成長できますよう、引き続きお力添えをいただきますようお願いいたします。

話は変わりますが、栃木県では「とちぎの子どもたちへの教え」を推進しています。これは、子供たちの社会的自立に向けて、特に身に付けさせたい「人として、してはならないこと、すべきこと」を系統的に表した「5つの教え」です。ご覧のように、例えば小学1・2学年段階であれば、「誰とでも仲良くする」「あいさつをする」「うそをつかない」「人の嫌がることはしない」「人のものをとらない」の5つです。ぜひ家庭・学校・地域が一体となって「5つの教え」を推進し、子供たちの豊かな心を育てていきましょう。



県教委「とちぎの子どもたちへの教え」から

この人に聞きました!

職場体験(マイ・チャレンジ)を終えた真岡西中2年生3名にインタビュー!

○初日はとても緊張しましたが、子供たちといろんなお話をしていくうちに楽しく過ごすことができました。子供たちには「先生」や「お姉さん」と呼ばれて、うれしかったです。2日目には、いろんな子にお手紙や折り紙で作ったキャラクターなどをプレゼントしてもらいました。私は「何ていい子たちなんだろう」と、とても感動しました。
○急に知らない中学生が来ても、「こんにちは!」「先生~」「ありがとうございます!」などと、とても明るく声をかけてくれる子がたくさんいてうれしかったし、来て良かったと感じました。担当した学年でない子も、廊下ですれ違つと、元気よくあいさつをしてくれました。真岡西小の子供たちのおかげで、楽しい思い出ばかりです。

○子供たちは私たちのことを「先生」と呼んでくれて、話しかけてくれました。廊下で会った時も「こんにちは!」「おはようございます!」などと言ってきて、とてもうれしかったです。掃除の時に長いほうきと短いほうきを交換してくれました。真岡西小の子供たちは元気で優しく、思いやりのある子たちだと感じました。



【第1回学校評議員会】

6月3日（月）に学校評議員会を行いました。各学年の授業参観後、学校経営について話合いました。本校の目指す児童像については、「元気なあいさつができる児童」「グローバル社会で活躍できるスキルを身に付けた児童」「当たり前のことのできる児童」を育成してほしいなど、貴重な御意見をいただきました。本日の意見を参考にして、児童が自立し、協働して社会に貢献できる人間の基盤を育成していきたいと思っております。学校評議員の皆様、1年間よろしくお願いたします。



【家庭教育学級開講式】

6月7日（金）に家庭教育学級開校式が行われました。本年度は、14名の学級生で活動を行います。開講式の後、講演会や体験活動などの研修計画について熱心な話合いが行われました。様々な研修を通して、家庭の教育力を高めるとともに、親子はもちろん学級生同士の絆も深めていただきたいと思います。

【活動の様子から】



1・2年 交通安全教室



避難訓練（異常気象）



2年 根本山校外学習



4年 エコステーション見学



6年 うつのみや遺跡の広場見学



道徳教育研修会 6年4組



3年 社会科校外学習



1年 公園探検



芸術鑑賞会（音楽会）

真岡西小学校創立50周年
記念公式マスコットキャラ
クター決定

愛称「にしにゃん」

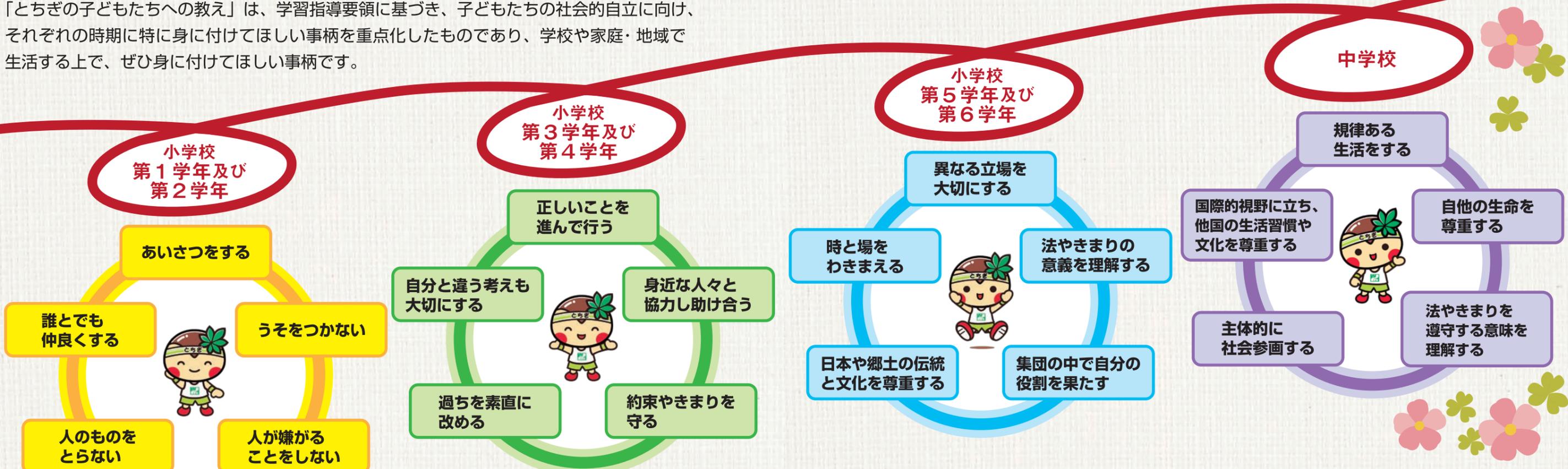


真岡西小学校創立50周年を記念して、本校児童からキャラクターを募集しました。クラス代表を決めてから、全校生で4作品に絞り、最終投票の結果、「にしにゃん」に決定いたしました。参加してくれた児童の皆さん、計画・準備から何度も学校に足を運んでいただいたPTA役員の皆様、大変ありがとうございました。

とちぎの子どもたちへの教え

～人として、してはならないこと、すべきこと～

「とちぎの子どもたちへの教え」は、学習指導要領に基づき、子どもたちの社会的自立に向け、それぞれの時期に特に身に付けてほしい事柄を重点化したものであり、学校や家庭・地域で生活する上で、ぜひ身に付けてほしい事柄です。



5つの教えで育もう！とちぎの子どもたちの豊かな心

栃木県教育委員会

2. とちぎの子どもたちへの教え…「教えること」

学校では、日常的生活場面を含む学校生活のあらゆる場面で、繰り返し「だめなものはだめと教える」、あるいは「教えるべきことをしっかりと教える」指導を行っています。

とちぎの子どもたちにぜひ身に付けてほしい事柄を「とちぎの子どもたちへの教え～人として、してはならないこと、すべきこと～」として、それぞれの学年段階で「5つの教え」にまとめ、教えるべきこととして繰り返し指導しています。上の図のとちまるくんの周りに示した事柄が「5つの教え」の具体的な内容です。

どの御家庭でも「こういう子に育てほしい」という願いがあると思います。「5つの教え」は、その願いを実現していく上で、基盤となるものではないでしょうか。それぞれの学年の「5つの教え」をお子様と一緒に確認していただき、右の例を参考に御家庭で、できることを考えていただきたいと思います。

学校・家庭・地域が一体となって「5つの教え」を推進していくことで、子どもたちの豊かな心が育まれることを願っています。

家庭でできる「5つの教え」例

御家庭で、こんな場面はありませんか。



「おはよう!」、「おやすみ。」など、子どもと毎日言葉を交わすこと

『あいさつをする(1・2年生)』ことにつながります。

「テレビは何時まで見るの?」、「8時までは見たいな。」など、子どもに時間を確認すること

『約束やきまりを守る(3・4年生)』ことにつながります。

子どもに夕食の配膳などの役割を与え、その取組を見届けること

『集団の中で自分の役割を果たす(5・6年生)』ことにつながります。